

The Emerging Markets Monthly

中期為替相場見通し

目次

新興国通貨：米中貿易戦争は一旦休戦か	2
中国人民元(CNY)：中国政府は景気刺激策を発表	3
インドルピー(INR)：生産の伸びはピークアウト	4
インドネシアルピア(IDR)：7月会合は政策金利据え置き	5
韓国ウォン(KRW)：文政権が景気浮揚策を発表	6
マレーシアリング(MYR)：GST廃止でインフレ率が大幅低下	7
フィリピンペソ(PHP)：インフレ加速で高まる追加利上げ期待	8
ブラジルリアル(BRL)：本格化する大統領選挙	9
タイバーツ(THB)：BOTは金融政策の正常化を示唆か	10
メキシコペソ(MXN)：オブラドール氏は財政規律の遵守を強調	11
ロシアルーブル(RUB)：手掛かり難の横這い継続予想が最有力	12
南アフリカランド(ZAR)：6月に広がった悲観は行き過ぎだったか	13
トルコリラ(TRY)：CBRT利上げ見送りが示唆する大統領独裁	14
各種予想	15

国際為替部

マーケット・エコノミスト

佐々木 貴彦

03-3242-7065

takahiko.sasaki@mizuho-bk.co.jp

マーケット・エコノミスト

多田出 健太

03-3242-7065

kenta.tadaide@mizuho-bk.co.jp

大島 由喜

03-3242-7065

yuki.ooshima@mizuho-bk.co.jp

アジア・オセアニア資金部
シニアエコノミスト

Vishnu Varathan

vishnu.varathan@mizuho-cb.com

マーケット・エコノミスト

Huani Zhu

huani.zhu@mizuho-cb.com

FXストラテジスト

Chang Wei Liang

weiliang.chang@mizuho-cb.com

欧州資金部

シニア為替ストラテジスト

本多 秀俊

44-20-7786-2505

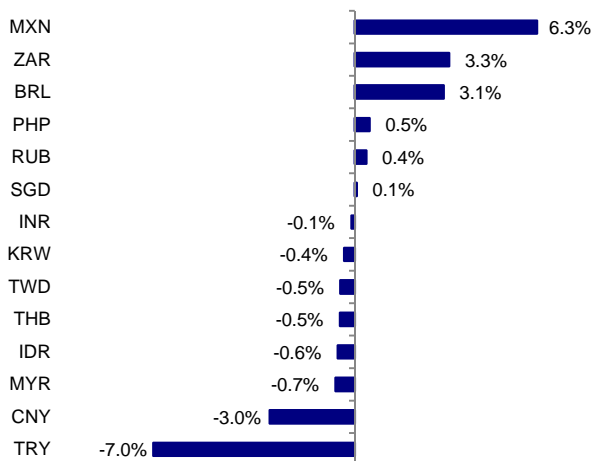
hidetoshi.honda@mhcb.co.uk

日本でのお問い合わせは、国際為替部までお願い致します。

新興国通貨：米中貿易戦争は一旦休戦か

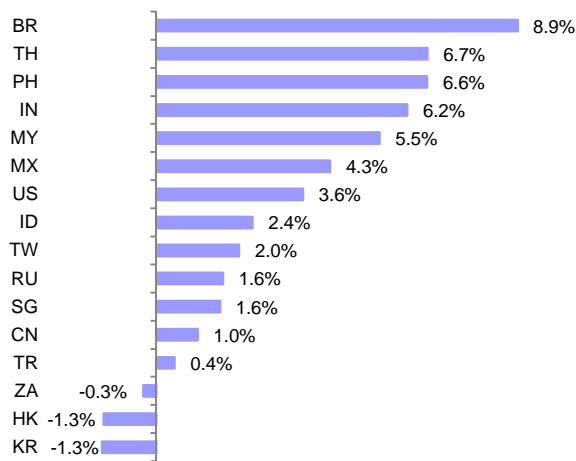
- 6月に新興国通貨が全面安となる主因になった米中通商摩擦は7月に入っても両国に歩み寄りの姿勢は見られず、6日には340億ドル相当の輸入品に対して追加関税を互いに賦課しあう事実上の「貿易戦争」にまで発展した。こうした中、当事国の通貨であるCNYが2017年6月以来の安値をつける展開となったものの、多くのアジア通貨は6月と比べて小動きとなったほか、アジア以外の地域では一部通貨が反発するなど、7月の新興国通貨は値動きがまちまちになった。
- 背景には、米中両政府が追加関税発動後は新たな制裁関税や報復措置について発表せず、お互いの出方をうかがう姿勢を示したことで目先における貿易戦争激化への懸念が後退したことが挙げられる。トランプ米政権は7月6日に中国の知的財産権侵害への制裁措置との名目で中国からの輸入品340億ドルへの追加関税を発動し、中国政府も同額の米国製品に対して報復関税を課すことを表明。米国は10日に最大2000億ドル相当の中国製品に10%の追加関税の適用を検討するとしたが、知的財産侵害への制裁として残る160億ドル相当の輸入品に対する追加関税は中国の出方を見て判断するとし、即時の発動を見送った。
- また、10日に米通商代表部(USTR)が公表した追加関税リストについて、実際の発動まで時間を要する公算が大きいことも、米中貿易戦争激化に対する懸念の後退に繋がったと考えられる。同関税に関しては議会や産業界からの意見聴取などに約2か月かかると言われており、検討開始時期から計算すれば、発動の準備が整うのは9月上旬になる見込みだ。
- 目先は米中貿易戦争が小康状態に入る公算が大きい中、新興国からの資本流出圧力は一旦弱まりそうだ。実際、ファンドの新興国に対する年初来からの累積投資額を見ると、7月に入り新興国株式に対する投資額の減少ペースは緩やかとなり、債券に至っては増加に転じている。
- もっとも、トランプ政権が通商政策で強硬姿勢を転換する様子は見られず、通商交渉が進展しないままトランプ大統領が現在検討中の2000億ドル相当の中国製品に対する追加関税の賦課に踏み切るリスクがあるため、米中貿易戦争の懸念が大きく後退するとは想定しがたい。かかる状況下、新興国通貨の安定は短命に終わる公算が大きいと考える。(佐々木貴彦)

図表 1: 新興国通貨騰落率(2018年7月)



(資料)ブルームバーグ

図表 2: 新興国株式騰落率(2018年7月)



(資料)ブルームバーグ

お客さま各位

ここではレポートの一部をご紹介します。
しています。

レポート全ページをご希望の方は、
お取引いただいているみずほ銀行の
お取扱店、またはお取引担当部まで
お問い合わせください。

以上